

広島県後期高齢者医療広域連合の財政状況の公表

～ 令和3年11月 ～

この「財政状況の公表」は、後期高齢者医療制度の運営にお金がどのように使われているのかといった広域連合の財政状況を皆さんに知っていただくため、毎年5月に下半期分（前年度10月1日から3月31日まで）の財政状況と当年度の当初予算を、11月に上半期分（4月1日から9月30日まで）の財政状況と前年度の決算状況を「広島県後期高齢者医療広域連合の財政状況の作成及び公表に関する条例」に基づき公表するものです。

今回は、令和3年度上半期（令和3年4月1日から9月30日まで）の予算執行や財産の状況と令和2年度の決算状況について公表します。

また、最後に主要な予算科目の内容について簡単に説明しています。

令和3年度上半期の財政状況

～予算執行の状況と財産等の概要～

以下で説明する財政状況は、令和3年9月30日現在で記載しています。

1 令和3年度上半期の歳入歳出予算の執行状況

予算執行状況については次のとおりです。

●一般会計の予算執行状況（令和3年9月30日現在）

（歳入）

（単位：千円）

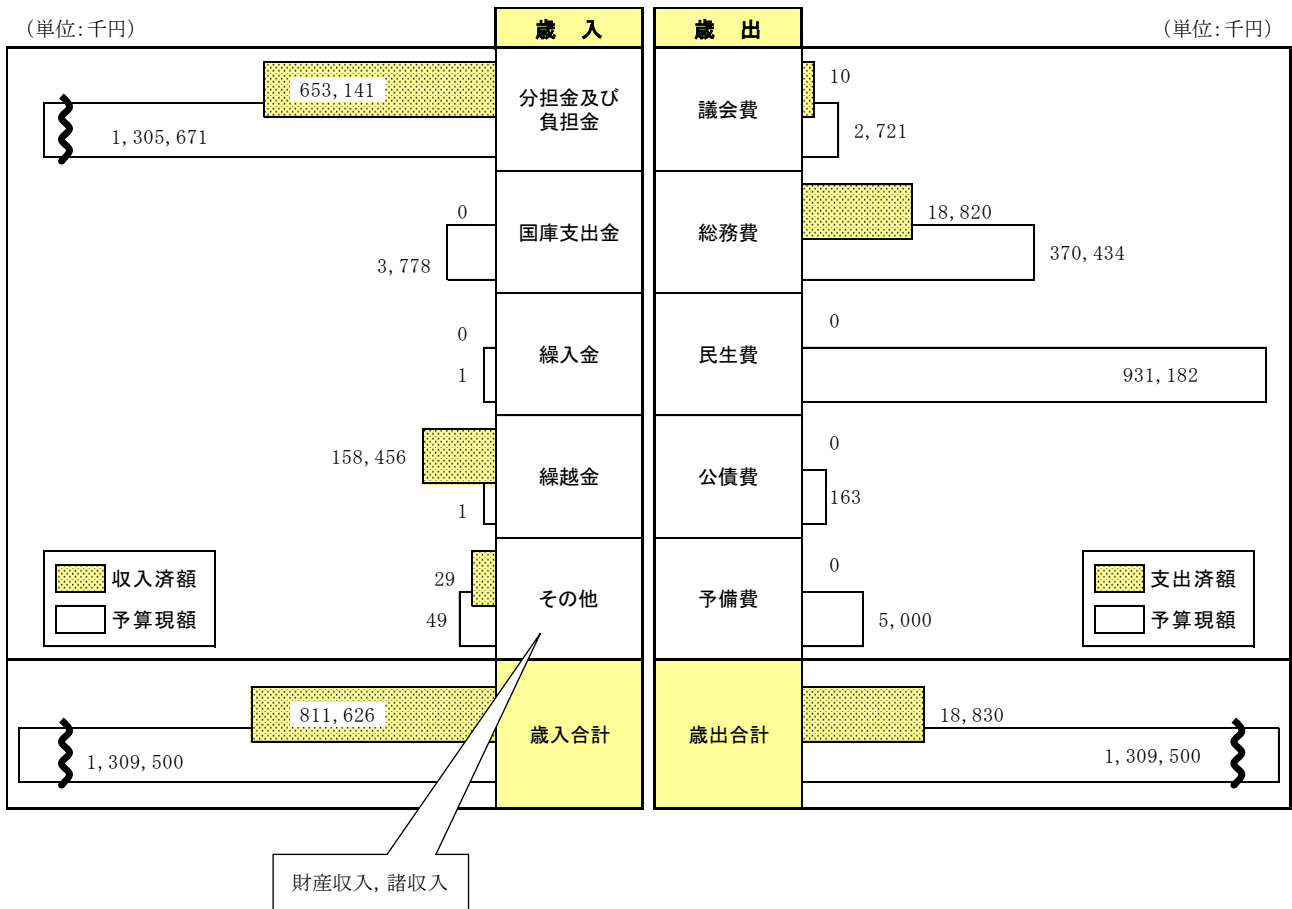
区 分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)
分担金及び負担金	1,305,671	653,141	50.0%
国庫支出金	3,778	0	0.0%
財産収入	9	2	22.2%
繰入金	1	0	0.0%
繰越金	1	158,456	15,845,600.0%
諸収入	40	27	67.5%
合 計	1,309,500	811,626	62.0%

（歳出）

（単位：千円）

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)
議会費	2,721	10	0.4%
総務費	370,434	18,820	5.1%
民生費	931,182	0	0.0%
公債費	163	0	0.0%
予備費	5,000	0	0.0%
合 計	1,309,500	18,830	1.4%

グラフ「令和3年度一般会計予算の執行状況（令和3年9月30日現在）」



(注) 上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。

●後期高齢者医療特別会計の予算執行状況（令和3年9月30日現在）

（歳入）

（単位：千円）

区 分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)
市町支出金	74,284,211	31,381,058	42.2%
市町保険料等負担金※	40,434,905	14,440,403	35.7%
国庫支出金	140,923,198	83,611,230	59.3%
県支出金	35,610,447	22,566,207	63.4%
支払基金交付金	176,665,930	73,420,675	41.6%
特別高額医療費 共同事業交付金	116,869	0	0.0%
財産収入	157	0	0.0%
繰入金	4,494,062	0	0.0%
繰越金	1	16,236,586	1,623,658,600.0%
県財政安定化 基金借入金	1	0	0.0%
諸収入	462,875	283,250	61.2%
合 計	432,557,751	227,499,006	52.6%

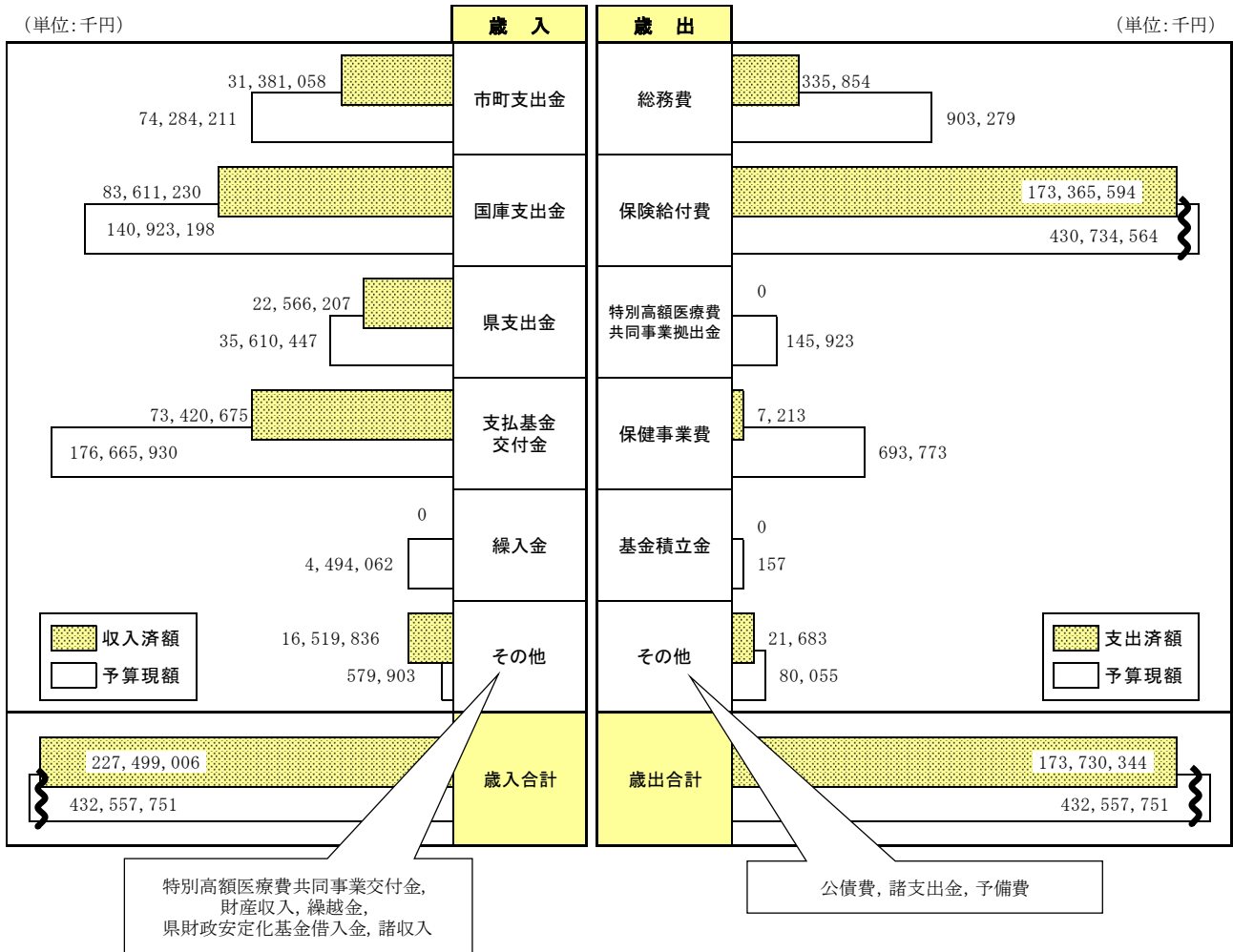
※市町保険料等負担金：市町支出金のうち保険料等についての再掲

（歳出）

（単位：千円）

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)
総務費	903,279	335,854	37.2%
保険給付費	430,734,564	173,365,594	40.2%
特別高額医療費 共同事業拠出金	145,923	0	0.0%
保健事業費	693,773	7,213	1.0%
基金積立金	157	0	0.0%
公債費	3,247	0	0.0%
諸支出金	51,808	21,683	41.9%
予備費	25,000	0	0.0%
合 計	432,557,751	173,730,344	40.2%

グラフ「令和3年度後期高齢者医療特別会計予算の執行状況（令和3年9月30日現在）」



(注)上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。

2 広域連合が所有する財産の現在高

令和3年9月30日現在において、広域連合が所有する財産は次のとおりです。

【物 品】

区 分	数 量	摘 要
物 品	1	新財務会計システム一式

(取得価格1件100万円以上の物品)

【基 金】

名 称	金 額 (円)	摘 要
財政調整基金	412,623,899	決算剰余金等を積み立て、不測の支出に備えるための基金
後期高齢者医療給付準備基金	10,699,575,326	徴収した保険料のうち、その年度に余ったものを積み立て、次年度以降の給付に充てるための基金

3 一時借入金及び地方債の借入状況

(1) 一時借入金

一時借入金とは、一時的な現金の不足を補うための短期借入金です。

令和3年4月1日から9月30日までの間の借入れはありませんでした。

(2) 地方債（広域連合債）

地方債とは、その償還が借入年度以降にわたる長期の借入金で、多額の事業費の財源を確保し、費用負担の世代間格差を是正するためのものです。

令和3年9月30日現在において、借入れはありません。

4 住民負担の状況

被保険者に納めていただいた保険料は、医療給付等に要する費用に充てられる「保険料等負担金」として各市町から広域連合に納付されています。

その他に各市町からは、広域連合の運営に要する費用に充てられる「事務費負担金」及び医療給付に要する費用に一定の割合で充てられる「療養給付費負担金」が広域連合に納付されています。

令和3年4月1日から9月30日における各市町の納付額は、次のとおりです。

(単位：千円)

区 分	保険料等負担金	事務費負担金	療養給付費負担金	合 計
広島市	5,852,883	229,636	5,832,708	11,915,227
呉市	1,411,826	55,763	1,824,192	3,291,781
竹原市	206,960	9,374	239,442	455,776
三原市	637,742	24,604	745,488	1,407,834
尾道市	980,403	35,767	1,064,268	2,080,438
福山市	2,415,665	98,248	2,562,798	5,076,711
府中市	300,689	12,445	300,834	613,968
三次市	352,231	15,667	447,348	815,246
庄原市	280,752	12,837	363,156	656,745
大竹市	202,899	9,194	220,338	432,431
東広島市	934,668	37,930	923,340	1,895,938
廿日市市	729,809	26,959	693,666	1,450,434
安芸高田市	212,092	10,106	232,572	454,770
江田島市	209,193	9,130	250,812	469,135
府中町	295,977	12,608	260,328	568,913
海田町	150,196	8,338	141,030	299,564
熊野町	189,722	8,436	178,446	376,604
坂町	83,932	8,367	111,531	203,830
安芸太田町	51,767	4,893	78,366	135,026
北広島町	125,365	7,538	158,772	291,675
大崎上島町	72,534	5,201	88,116	165,851
世羅町	120,869	7,068	134,274	262,211
神石高原町	79,248	5,530	88,830	173,608
合 計	15,897,422	655,639	16,940,655	33,493,716

※令和2年度分の納付額(1,459,517千円)を含んでいます。

主要な予算科目の内容

1 一般会計

(歳 入)

区 分	説 明
分担金及び負担金	広域連合を構成する23市町からの事務費分担金
国庫支出金	広域連合ごとの事情に応じて交付される補助金等
財産収入	基金の運用預金利子
繰入金	財政調整基金からの繰入れ
繰越金	前年度の決算剰余金の繰越し
諸収入	その他の収入

(歳 出)

区 分	説 明
議会費	広域連合の議員報酬や議会の運営のための経費
総務費	職員の人件費や広域連合の運営に要する経費
民生費	後期高齢者医療特別会計の事務費等の経費に充てる繰出金
公債費	一時的な現金不足に対処するため、借り入れる資金に対する支払利子
予備費	不測の支出に備えるための経費

2 後期高齢者医療特別会計

(歳 入)

区 分	説 明
市町支出金	被保険者から徴収した保険料や，被保険者が受けた医療給付の1/12相当の市町の公費負担
国庫支出金	被保険者が受けた医療給付の3/12相当の公費負担や，広域連合間の財政調整を目的とした調整交付金等
県支出金	被保険者が受けた医療給付の1/12相当の公費負担等
支払基金交付金	現役世代からの後期高齢者支援金
特別高額医療費 共同事業交付金	著しく高額な医療費の発生による影響を緩和するための交付金
財産収入	基金の運用預金利子
繰入金	一般会計，給付準備基金からの繰入金
繰越金	前年度の決算剰余金の繰越し
県財政安定化基金 借入金	後期高齢者医療の財政安定化を目的に県が設置する基金からの借入金
諸収入	その他の収入

(歳 出)

区 分	説 明
総務費	後期高齢者医療制度の事務執行に伴う経費
保険給付費	療養給付費，高額療養費，葬祭費等の保険給付のための経費
特別高額医療費 共同事業拠出金	全国の広域連合が負担し，特別高額医療費共同事業交付金の財源となる拠出金
保健事業費	各市町で行う被保険者の健康診査等の保健事業に対する補助金等
基金積立金	給付準備基金への積立金
公債費	一時的な現金不足に対処するため，借り入れる資金に対する支払利子
諸支出金	国庫負担金，県負担金，市町負担金の返還等に要する経費
予備費	不測の支出に備えるための経費

令和2年度広域連合の決算の状況

1 令和2年度の事業

広域連合では、被保険者に安定した医療給付を実施していくための各種事業を行い、制度の円滑かつ効率的な運営に努めました。

各会計の主な支出は次のとおりです。

●令和2年度一般会計の主な事業

主な経費は、後期高齢者医療特別会計の事務費に充てるための事務費繰出金（815,705千円）、派遣職員の給料等負担金（264,382千円）となっています。

●令和2年度後期高齢者医療特別会計の主な事業

主な経費は、被保険者の医療機関等での受診に対する療養給付費を中心とした保険給付費（400,414,567千円）、電算処理システムの安定稼働と適正運用のための広域連合電算処理システム運用管理事業（305,737千円）、市町が行う健康診査事業、歯科健康診査事業、長寿・健康増進事業や低栄養防止・重症化予防等推進事業に対する補助（271,404千円）、レセプト点検、医療費通知や療養費支給申請書内容点検の医療費適正化対策事業（158,940千円）となっています。

2 令和2年度一般会計の決算状況

歳入決算額	1 3 億 9, 3 2 7 万 2, 8 1 3 円
歳出決算額	1 2 億 3, 4 8 1 万 6, 4 4 7 円
歳入歳出差引額	1 億 5, 8 4 5 万 6, 3 6 6 円

(1) 歳入の状況

令和2年度一般会計の財源構成は、構成市町からの負担金が全体の大部分を占めています。

前年度と比較すると、合計で 81,706 千円 (6.23%) の増となっていますが、これは主に、繰越金が 41,129 千円 (63.2%)、構成市町からの事務費分担金が 40,668 千円 (3.3%) 増額となったことによるものです。

(歳入)

(単位:千円)

区 分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 収入済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
分担金及び負担金	1,286,749	1,286,755	100.0%	92.4%	1,246,087	40,668	3.3%
国庫支出金	2	234	11,700.0%	0.0%	287	△53	△18.5%
財産収入	32	11	34.4%	0.0%	26	△15	△57.7%
繰入金	1	0	0.0%	0.0%	0	0	—
繰越金	106,228	106,228	100.0%	7.6%	65,099	41,129	63.2%
諸収入	44	45	102.3%	0.0%	68	△23	△33.8%
合 計	1,393,056	1,393,273	100.0%	100.0%	1,311,567	81,706	6.23%

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が 100.0%にならない場合があります。

(2) 歳出の状況

令和2年度の歳出の状況を行政目的別に見ると、特別会計事務費繰出金等の民生費が66.1%を占め、次いで広域連合事務局の運営経費である総務費が全体の33.9%となっています。

前年度と比較すると、総務費が58,718千円(16.3%)増加し、合計は29,477千円(2.4%)の増額となりました。

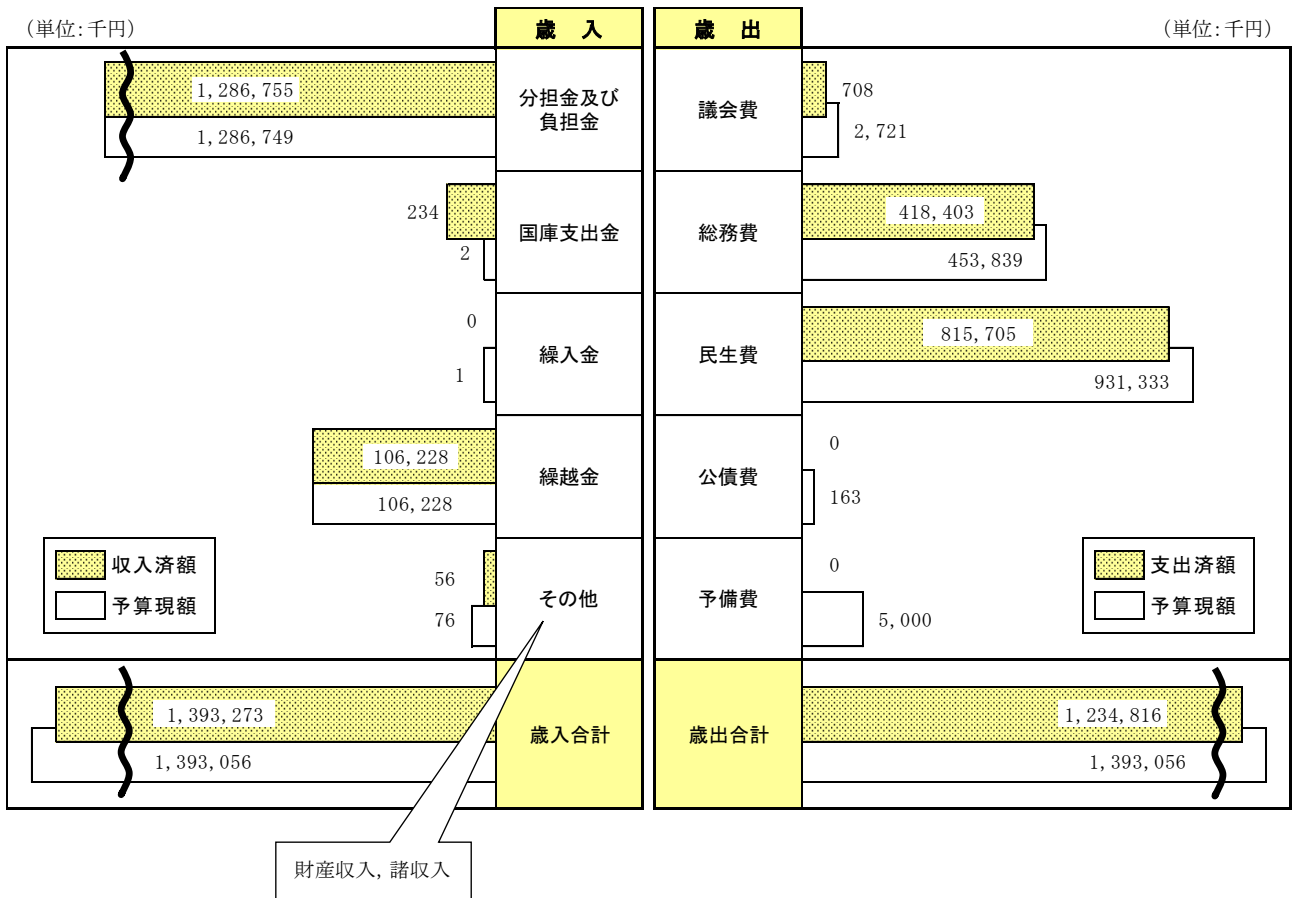
(歳 出)

(単位:千円)

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 支出済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
議会費	2,721	708	26.0%	0.1%	790	△82	△10.4%
総務費	453,839	418,403	92.2%	33.9%	359,685	58,718	16.3%
民生費	931,333	815,705	87.6%	66.1%	844,864	△29,159	△3.5%
公債費	163	0	0.0%	0.0%	0	0	—
予備費	5,000	0	0.0%	0.0%	0	0	—
合 計	1,393,056	1,234,816	88.6%	100.0%	1,205,339	29,477	2.4%

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

グラフ「令和2年度一般会計歳入歳出決算の状況」



(注) 上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。

3 令和2年度後期高齢者医療特別会計の決算状況

歳入決算額	4, 219億5, 821万9, 827円
歳出決算額	4, 057億2, 163万3, 858円
歳入歳出差引額	162億3, 658万5, 969円

この差引額は、令和2年度の剰余金として令和3年度に繰り越し、国庫補助金等の返還金の財源に充てます。

(1) 歳入の状況

令和2年度後期高齢者医療特別会計の財源構成は、現役世代からの支援金である支払基金交付金が全体の39.1%を占め、次いで国庫支出金が34.2%、市町支出金が17.0%、県支出金が8.3%となっています。

(歳入)

(単位:千円)

区分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 収入済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
市町支出金	73,383,591	71,766,002	97.8%	17.0%	69,639,026	2,126,976	3.1%
市町保険料等負担金※	40,009,233	39,549,656	98.9%	9.4%	37,657,591	1,892,065	0.3%
国庫支出金	138,147,055	144,342,261	104.5%	34.2%	140,008,205	4,334,056	3.1%
県支出金	34,763,933	34,904,788	100.4%	8.3%	34,268,140	636,648	1.9%
支払基金交付金	170,699,015	165,003,816	96.7%	39.1%	167,400,852	△2,397,036	△1.4%
特別高額医療費 共同事業交付金	86,942	119,122	137.0%	0.0%	80,505	38,617	48.0%
財産収入	1,050	1,049	99.9%	0.0%	1,041	8	0.8%
繰入金	3,670,699	815,705	22.2%	0.2%	844,864	△29,159	△3.5%
繰越金	4,520,823	4,520,824	100.0%	1.1%	6,315,299	△1,794,475	△28.4%
県財政安定化 基金借入金	1	0	0.0%	0.0%	0	0	—
諸収入	488,485	484,653	99.2%	0.1%	542,437	△57,784	△10.7%
合計	425,761,594	421,958,220	99.1%	100.0%	419,100,369	2,857,851	0.7%

※市町保険料等負担金:市町支出金のうち保険料等についての再掲

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

(2) 歳出の状況

令和2年度の歳出の状況を行政目的別に見ると、被保険者の医療機関等での受診に対する療養給付費を中心とした保険給付費が全体の98.7%と歳出総額のほとんどを占め、次いで令和元年度交付分の国庫支出金返還金を中心とした諸支出金が1.0%となっています。

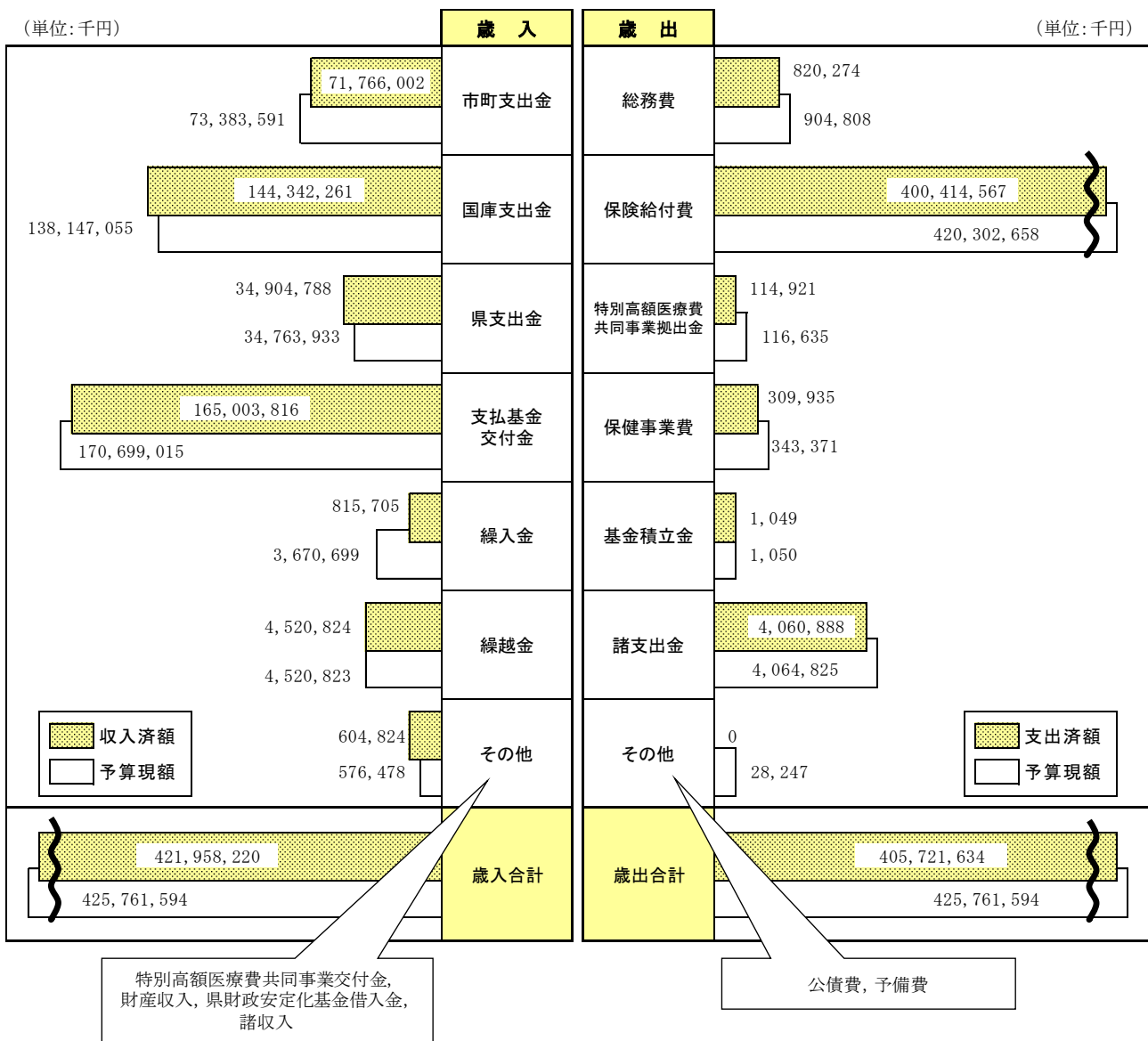
(歳出)

(単位:千円)

区分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 支出済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
総務費	904,808	820,274	90.7%	0.2%	846,262	△25,988	△3.1%
保険給付費	420,302,658	400,414,567	95.3%	98.7%	407,399,446	△6,984,879	△1.7%
特別高額医療費 共同事業拠出金	116,635	114,921	98.5%	0.0%	91,609	23,312	25.4%
保健事業費	343,371	309,935	90.3%	0.1%	402,638	△92,703	△ 23.0%
基金積立金	1,050	1,049	99.9%	0.0%	1,041	8	0.8%
公債費	3,247	0	0.0%	0.0%	0	0	—
諸支出金	4,064,825	4,060,888	99.9%	1.0%	5,838,549	△1,777,661	△ 30.4%
予備費	25,000	0	0.0%	0.0%	0	0	—
合計	425,761,594	405,721,634	95.3%	100.0%	414,579,545	△8,857,911	△2.1%

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

グラフ「令和2年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の状況」



(注) 上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。